



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 江崎グリコ株式会社

コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江崎勝久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 松本節範

TEL 06-6477-8404

四半期報告書提出予定日 平成28年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	88,747	4.2	7,840	36.6	7,462	15.5	5,558	22.5
28年3月期第1四半期	85,167	8.0	5,739	24.6	6,459	29.5	4,537	△58.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 4,856百万円 (4.2%) 28年3月期第1四半期 4,660百万円 (△60.9%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	84.73	—	—	—
28年3月期第1四半期	69.20	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
29年3月期第1四半期	280,170	182,815	182,815	182,815	63.2	2,700.38	2,700.38	
28年3月期	274,974	179,151	179,151	179,151	63.1	2,646.45	2,646.45	

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 177,189百万円 28年3月期 173,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	194,500	7.9	12,700	0.8	13,300	△7.2	9,500	△6.9	144.83	144.83
通期	370,000	9.3	20,000	16.9	21,000	9.2	14,000	0.7	213.43	213.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	69,430,069 株	28年3月期	69,430,069 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	3,813,683 株	28年3月期	3,836,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	65,602,547 株	28年3月期1Q	65,571,828 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)におけるわが国経済は、国内外の経済情勢の変化による為替や株価の不安定な動き等により、企業収益や個人に足踏み状態がみられ、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。このような状況の中で、当社グループは、主力品を軸とした売上拡大や新製品・系列品の発売、量販店やCVSでの販売対策等を積極的に展開いたしました。

その結果、売上面では、食品部門、牛乳・乳製品部門、食品原料部門は前年同期を下回りましたが、菓子部門、冷菓部門、その他部門が前年同期を上回ったため、当四半期連結売上高は88,747百万円となり、前年同期(85,167百万円)に比べ4.2%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、販売品種構成の変化や増収による固定費率の低下等により、全体ではダウンしました。販売費及び一般管理費は、牛乳・乳製品の構成比率のダウンによって運送費及び保管費が減少し、広告宣伝費も減少しました。その結果、営業利益は7,840百万円で前年同期(5,739百万円)に比べ2,100百万円の増益となり、経常利益は7,462百万円で前年同期(6,459百万円)に比べ1,002百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,558百万円となり、前年同期(4,537百万円)に比べ、1,020百万円の増益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

・セグメント別の概況

(単位：百万円、%)

セグメント	売上高			営業利益		
	当第1四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年 同期比(%)	当第1四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年 同期比(%)
菓子	28,464	591	102.1	3,131	914	141.3
冷菓	25,213	3,600	116.7	3,113	656	126.7
食品	4,283	△738	85.3	△124	△95	—
牛乳・乳製品	24,509	△1,716	93.5	1,542	220	116.7
食品原料	2,797	△71	97.5	227	66	141.5
その他	3,478	1,914	222.4	44	87	—
調整	—	—	—	△95	250	—
合計	88,747	3,579	104.2	7,840	2,100	136.6

<菓子部門>

売上面では、国内は“バンホーテンチョコレート”“リベラ”等が前年同期を上回りました。海外では、米国の子会社が前年同期を大きく上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は28,464百万円となり、前年同期(27,872百万円)に比べ2.1%の増収となりました。

利益面では、国内及び米国外子会社の増収効果等によって、営業利益は3,131百万円となり、前年同期(2,216百万円)に比べ914百万円の増益となりました。

<冷菓部門>

売上面では、主力の“パピコ”“アイスの実”“ジャイアントコーン”等が前年同期を上回りました。また、Glico Frozen(Thailand)Co.,Ltd.及び新たに連結範囲に含めました正直屋乳販(株)の売上が上乘せとなりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は25,213百万円となり、前年同期(21,613百万円)に比べ16.7%の増収となりました。

利益面では、運送費及び保管費率がアップしたものの、増収による売上原価率のダウン等により、営業利益は3,113百万円となり、前年同期(2,457百万円)に比べ656百万円の増益となりました。

<食品部門>

売上面では、“カレー職人”等は前年同期を上回りましたが、“熟カレー”等が前年同期を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,283百万円となり、前年同期(5,022百万円)に比べ14.7%の減収となりました。

利益面では、リベートの効率運用に努めたものの、減収による売上総利益の減少や広告宣伝費の増加等により、営業損失は124百万円となり、前年同期(28百万円)に比べ95百万円の損失増となりました。

<牛乳・乳製品部門>

売上面では、「BifiXヨーグルト」「粉ミルク」等は前年同期を上回りましたが、“カフェオーレ”等の乳飲料や“ドロリッチ”等が前年同期を下回りました。また、“アーモンド効果”はその他部門(健康部門)にセグメント区分を変更しました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は24,509百万円となり、前年同期(26,225百万円)に比べ6.5%の減収となりました。

利益面では、製造経費の減少等による売上原価率のダウンと運送費及び保管費率の低下等により、営業利益は1,542百万円となり、前年同期(1,322百万円)に比べ220百万円の増益となりました。

<食品原料部門>

売上面では、“E-スターチ”等は前年同期を上回りましたが、「ファインケミカル」等が前年同期を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,797百万円となり、前年同期(2,869百万円)に比べ2.5%の減収となりました。

利益面では、一般管理費の増加はあったものの、売上原価率がダウンしたことにより、営業利益は227百万円となり、前年同期(160百万円)に比べ66百万円の増益となりました。

<その他部門>

売上面では、「オフィスグリコ」が前年同期を上回り、セグメント区分を変更した“アーモンド効果”や“カロリーコントロールアイス”が堅調に推移しました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,478百万円となり、前年同期(1,564百万円)に比べ122.4%の増収となりました。

利益面では、オフィスグリコ及び健康部門の増収による売上総利益の増加により、営業利益は44百万円となり、前年同期(△43百万円)に比べ87百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は280,170百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,196百万円増加しました。流動資産は136,670百万円となり、5,335百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加によるものです。固定資産は143,499百万円となり、139百万円減少しました。主な要因は、有形固定資産の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は97,355百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,532百万円増加しました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は182,815百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,663百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加となります。この結果、自己資本比率は63.2%(前連結会計年度末比0.1%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,941	54,566
受取手形及び売掛金	35,113	38,265
有価証券	11,395	9,289
商品及び製品	12,451	14,160
仕掛品	865	876
原材料及び貯蔵品	13,578	13,892
その他	7,042	5,681
貸倒引当金	△54	△61
流動資産合計	131,335	136,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,489	22,269
機械装置及び運搬具(純額)	28,379	27,845
土地	15,711	15,750
建設仮勘定	12,025	11,813
その他(純額)	3,972	3,926
有形固定資産合計	82,577	81,605
無形固定資産		
その他	4,053	4,709
無形固定資産合計	4,053	4,709
投資その他の資産		
投資有価証券	37,922	38,385
投資不動産(純額)	12,402	12,394
その他	6,735	6,455
貸倒引当金	△52	△50
投資その他の資産合計	57,008	57,184
固定資産合計	143,639	143,499
資産合計	274,974	280,170

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,396	33,190
短期借入金	5,218	5,245
1年内返済予定の長期借入金	501	478
未払費用	25,107	24,103
未払法人税等	2,179	2,062
販売促進引当金	1,675	1,632
役員賞与引当金	41	—
BIP株式給付引当金	56	—
ESOP分配引当金	1,366	1,417
その他	12,253	10,321
流動負債合計	76,795	78,451
固定負債		
長期借入金	501	239
退職給付に係る負債	10,927	10,912
その他	7,598	7,751
固定負債合計	19,027	18,903
負債合計	95,822	97,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,816	7,860
利益剰余金	155,190	159,435
自己株式	△6,811	△6,721
株主資本合計	163,968	168,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,949	8,326
為替換算調整勘定	2,646	1,403
退職給付に係る調整累計額	△973	△888
その他の包括利益累計額合計	9,623	8,841
非支配株主持分	5,560	5,626
純資産合計	179,151	182,815
負債純資産合計	274,974	280,170

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	85,167	88,747
売上原価	45,998	47,477
売上総利益	39,169	41,269
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	7,794	7,770
販売促進費	10,561	10,615
販売促進引当金繰入額	1,553	1,632
広告宣伝費	2,988	2,666
退職給付費用	237	266
E S O P分配引当金繰入額	-	51
その他	10,295	10,426
販売費及び一般管理費合計	33,430	33,428
営業利益	5,739	7,840
営業外収益		
受取利息	102	96
受取配当金	370	359
その他	392	357
営業外収益合計	866	814
営業外費用		
支払利息	48	32
為替差損	-	1,033
その他	97	126
営業外費用合計	146	1,192
経常利益	6,459	7,462
特別利益		
負ののれん発生益	-	313
投資有価証券償還益	206	-
特別利益合計	206	313
特別損失		
段階取得に係る差損	-	12
特別損失合計	-	12
税金等調整前四半期純利益	6,666	7,763
法人税、住民税及び事業税	1,129	2,015
法人税等調整額	781	△95
法人税等合計	1,910	1,920
四半期純利益	4,755	5,843
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,537	5,558
非支配株主に帰属する四半期純利益	217	284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	376
為替換算調整勘定	91	△1,351
退職給付に係る調整額	51	85
持分法適用会社に対する持分相当額	△251	△96
その他の包括利益合計	△94	△986
四半期包括利益	4,660	4,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,378	4,776
非支配株主に係る四半期包括利益	282	80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	食品 原料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	27,872	21,613	5,022	26,225	2,869	83,603	1,564	85,167	—	85,167
セグメント間の内部売 上高又は振替高	76	—	—	139	37	252	752	1,005	△1,005	—
計	27,948	21,613	5,022	26,365	2,907	83,856	2,316	86,172	△1,005	85,167
セグメント利益又は損失 (△)	2,216	2,457	△28	1,322	160	6,128	△43	6,085	△345	5,739

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門(旧スポーツフーズ部門)、オフィスグリコ部門及びシステム保守開発事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△345百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額241百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△586百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	食品 原料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	28,464	25,213	4,283	24,509	2,797	85,268	3,478	88,747	-	88,747
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1	-	-	17	47	66	1,356	1,423	△1,423	-
計	28,465	25,213	4,283	24,526	2,845	85,335	4,835	90,170	△1,423	88,747
セグメント利益又は損失 (△)	3,131	3,113	△124	1,542	227	7,890	44	7,935	△95	7,840

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門、オフィスグリコ部門及びシステム保守開発事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△95百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額251百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△346百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。